

薬剤経済の検討
博士課程3年 林 行和

【概要】

承認申請をした薬剤の市場に出る際の薬剤経済的な位置付けを検討する研究を計画している。比較する薬剤の情報が、一方は治験で得られたデータであるのに対し、もう一方は、実臨床におけるデータであることから、比較妥当性が言えるのか、また、「費用最小化分析」による検討を計画しているが、効果が同じという前提に立っているのかなどの課題を検討した。

【参考文献】

PMDA. 医療情報のデータベース等を用いた医薬品の安全性評価における薬剤疫学研究の実施に関するガイドライン. 2014.

佐藤俊哉, 山口拓洋, 石黒智恵子. これからの薬剤疫学 リアルワールドデータからエビデンスを創る. 朝倉書店. 2021

赤沢学. 薬を扱うなら知っておきたい! 薬剤経済はじめの一步. 羊土社. 2020.

坂巻弘之. やさしく学ぶ薬剤経済学. じほう. 2003.

五十嵐中. 「薬剤経済」わかりません!!. 東京図書. 2014.